

# おかやま 地域づくり通信

---

協働で持続可能なおかやまへ！

- 第2次岡山市協働推進計画
- おかやま協働のまちづくり賞、市民活動支援金
- 岡山ESDプロジェクト2020-2030基本構想



Vol.1 2021年8月

発行：ESD・市民協働推進センター

# 第2次岡山市協働推進計画

個人の価値観が多様化し、社会状況が急速に変化するなど、市民ニーズや地域課題が複雑化・多様化する中、さまざまな課題に対応するため、平成28年に岡山市協働のまちづくり条例に基づき「岡山市協働推進計画(前計画)」が策定され、令和2年度まで取り組んできました。この度、協働の取組をこれまで以上に推進し、持続可能な活力ある岡山市をつくるため「第2次岡山市協働推進計画(令和3年度～令和7年度)」を策定しました。



市民協働フォーラムの様子  
これまでの取組の成果と課題などを行政や協働推進委員、市民で確認しました。

## 前計画(平成28年度～令和2年度)の取組

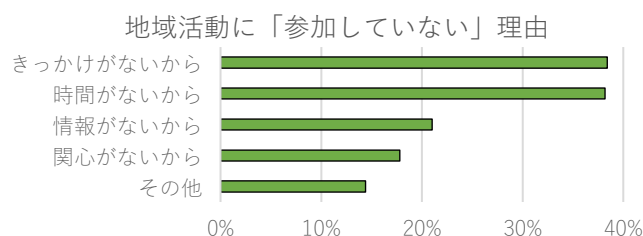
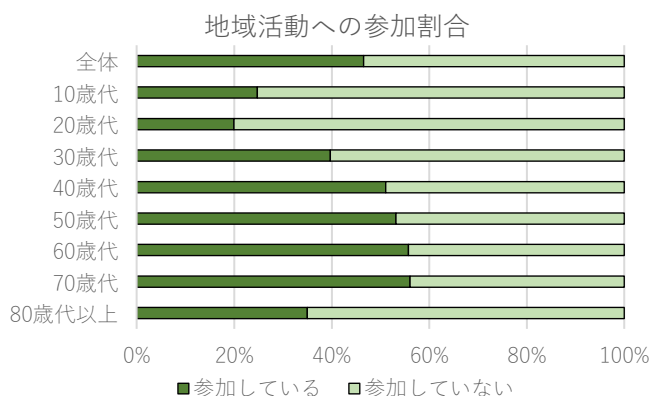
### ◆これまでの主な取組

<b>ESD・市民協働推進センターの運営</b>
協働のまちづくり条例に位置づけられている、多様な主体をつなぎ、協働を推進するためのコーディネート機関。協働の相談、講座やワークショップ開催、市民協働推進事業および区づくり推進事業の伴走支援などを行う。
<b>市民協働推進モデル事業 (令和3年度から市民協働推進事業へ改称)</b>
岡山市と市民活動団体等の協働による課題解決の取組を進める制度で、事業終了後は一般施策や団体の自主事業として継続することを目指す。前計画期間に22事業が実施された。
<b>おかやま協働のまちづくり賞</b>
多様な主体による課題解決に向けた優れた協働の取組を表彰・支援する制度で、市民活動団体等の活動意欲の向上や活動の拡大につなげることを目指す。前計画期間に計65取組が応募された。
<b>区づくり推進事業</b>
地域のまちづくりを進めるため、地域の特色をいかし、区民主体で企画・運営する事業を支援する制度。「地域交流部門(身近な交流部門、広域交流部門)」と「地域活動部門」で毎年約80事業が実施されている。

### ◆成果指標と達成度

基本方針	指標	状況
人材・団体を育成し、活動を支援する	地域活動への市民の参加割合	上昇
	ボランティア・NPO・市民活動の支援の満足度	達成
多様な主体のつながりの場を創出する	マッチングの結果、実際の協働の取組につながった件数	達成
	企業、NPO法人等が参加した安全・安心ネットワーク数	上昇
情報の発信と共有を進める	協働による取組に向けたマッチング件数	達成
	つながる協働ひろばHPへの岡山市の課題に関する情報掲載件数	上昇
市役所の協働化を進める	市民協働推進モデル事業の評価	下降
	各課の協働事業の自己評価	-
協働意識の醸成を進める	優れた取組の表彰の場への参加者数	達成

### ◆岡山市の現状 (令和元年度 岡山市市民意識調査より)



### ～課題～

- ①地域活動の担い手の育成と活動への支援**
  - ・「地域活動に参加していない人」が半数程度
  - ・10代、20代の「参加していない」割合は特に高い
  - ・新たな担い手となる人材発掘・育成が必要
- ②地域活動等のさらなる推進と協働する場の創出**
  - ・多様な主体との協働を生むつながりの場づくり
  - ・協働のコーディネート機能の向上
- ③協働の取組の情報発信による理解促進と活動への参加促進**
  - ・参加のきっかけが得られない人への情報発信
  - ・意欲向上や拡がりに向けた優れた取組の表彰等

令和2年度までの前計画の取組はおおむね順調でした。今後は、前計画の方向性を維持しながら、課題に対応した取組を行い、さらなる充実・拡充を図ります。



## 第2次岡山市協働推進計画の基本方針・基本施策

**目的** 多様な主体が協働して地域の社会課題解決の取組を行い、豊かで活力ある持続可能な地域社会を実現する

	基本方針	基本施策	主な取組
1	協働の主体となる新たな担い手を育てるとともに、その活動を支援する	市民活動団体等への支援	区づくり推進事業、リーダー養成講座、社会福祉法人等の地域づくり参画促進などによる活動の促進
		若者の人材育成	インターンシップやソーシャルビジネス推進事業、公民館の若者の地域参画事業などによる、次世代のまちづくりを担う人材育成
2	活動団体の取組を活性化させ、多様な主体のつながりを創出する	協働するための環境の提供	市民協働推進事業、ワークショップ、フォーラムなどで協働を推進、災害ボランティアネットワーク、安全・安心ネットワークを拡充
		コーディネート機能の向上	ESD・市民協働推進センターの協働事業の伴走支援、公民館や地域担当職員の協働の支援による、課題解決の取組の促進
		市役所の協働化の推進	市職員研修、市民協働推進本部の本部員・推進員による協働関係施策の調整、市民協働推進事業などによる協働化の推進
3	協働の取組を広く情報発信し、市民活動が行いやすい環境をつくる	協働に関する普及・啓発	ホームページやSNSの活用、リーフレット等の作成・配布で情報発信を行い、協働等に関する理解を促進
		市民活動団体等や優れた取組の情報発信	おかやま協働のまちづくり賞、地域貢献企業表彰、市民活動・地域活動等の取材等によるSDGs達成や課題解決のための取組を発信

### 岡山市災害ボランティアネットワーク登録団体・災害支援ボランティア募集（随時）

#### ネットワーク登録団体について

岡山市、(社福)岡山市社会福祉協議会、(特非)岡山NPOセンターの3者は、平成30年7月豪雨の経験や教訓を今後の防災・災害支援に生かし、迅速で柔軟な支援を届けるため「岡山市災害ボランティアネットワーク」を発足しました。

#### ●登録団体の役割

- ・専門的な被災者支援ニーズへの対応
- ・災害ボランティアセンターの運営
- ・平時に開催する研修会などへの参加 など

#### ●登録要件

- ・3名以上で構成された団体
- ・災害ボランティアセンターの運営の協力や被災者に支援を届ける意思があること
- ・研修会参加や情報更新に対応できること

登録フォームはこちら

<https://forms.gle/BoNtctBx6An3RDRK6>



#### 災害支援ボランティアについて

被災地には日常生活に戻るために活動する災害支援ボランティアの存在が必要不可欠です。現地での活動や支援物資の仕分けなど、被災地でボランティア活動に取り組み意欲のある個人や団体の登録をお待ちしています。

#### ●活動内容

- ・家財の片付けや泥の掃き出し等の現地での活動
- ・支援物資の仕分け
- ・災害ボランティアセンターの運営
- ・災害ボランティア養成講座等への参加 など

#### ●登録要件

##### 【個人登録】

- ・岡山市に居住または通勤通学している満15歳以上
- ##### 【グループ登録】
- ・活動員数5名以上で全員が満15歳以上
  - ・半数以上が岡山市に居住、または通勤通学している方

登録用紙はこちら

<http://www.okayamashi-shakyo.or.jp/volunteer/volunteercenter/>



ESD・市民協働推進センター（事務局）  
TEL：086-803-1062 FAX：086-803-1872  
Email：esd-smc@googlegroups.com

(社福)岡山市社会福祉協議会 [ひまわり福祉会館]  
TEL：086-201-0171 FAX：086-238-7757  
Email：volunteer@okayamashi-shakyo.or.jp

# おかやま協働のまちづくり賞

「岡山市協働のまちづくり条例」に基づき、豊かで活力ある持続可能な地域社会の実現のため、住民自治組織・NPO・企業・学校・行政など、多様な主体の協働による、優れた地域の社会課題解決の取組を表彰し、応援します。

## 第5回おかやま協働のまちづくり賞 受賞取組



### テーマ：地域と食と未来 (SDGs12、2、14、15)

「食」はわたしたちが生きるためのエネルギーの源です。

食を通じて子どもたちの健やかな成長を支える取組や特産品を活かした取組、食卓を支える農業や漁業を通じて持続可能な社会に貢献する活動など、安全・安心な食との関わり、地域がより良い未来に向かっていくための協働の取組を募集しました。



### 大賞

#### ■ 「産地牟佐」にこだわった地域の活性化／牟佐町内会

地域の子もは地域で育てるを理念に、「食」を地域への理解を深める有効な媒体と考え、猟友会・漁師・子ども会・婦人部等と共に、駆除したイノシシを用いたジビエ料理や皮革活用など、地域の資源を活用して自然資源の大切さを学んでいる。



### 入賞

■ マルシェ万富／モモタク運営協議会  
乗合タクシーの運営資金確保のため、月1回万富公民館でマルシェ開催、地元野菜や果物等を販売。

■ フードシェアリングを通じて、岡山市に広がる笑顔の輪／フード・シェアリング・ジャパン  
県内全域で提供された食品をこども食堂等に寄付。

### 賞

■ SDGs食品プロジェクト／更生保護施設等支援協議会  
更生保護施設や薬物等依存症自立施設などが店舗から余剰食品を受け取るシステムを展開。

■ 地域の伝統と農業への取り組み／長尾町内会  
農業後継者問題や耕作放棄地問題を抱えながらも、特産物販売、互助体制の農業等で地域継続を模索。

### 奨励賞

- だがしアカデミー /一般社団法人SGSG
- きたながせスープ～市民一人ひとりのチャレンジを重ねて合わせて煮込んでコトコト公園をつくる～  
／操車場跡地にできる新公園を活用する市民の会
- 雄町米 酒まんじゅう  
／竜之口学区栄養改善協議会
- 食と農を通して地域とのつながりを作り、未来を明るくする。 / 可知おむすびクラブ
- TABLE FOR TWO inおかやま  
／岡山大学TABLE FOR TWO

- 明るい未来にむけて「食べる」を考えよう！  
おかやまコープの『たべる・たいせつ』活動  
／生活協同組合おかやまコープ
- 給食から未来を～子どもたちの未来が、健康で心豊かとなるよう願って～  
／NPO法人0-99おかやまおしえてネット
- 角山学区 食と芸術の文化祭  
(クウ アンド マイアート フェスティバル)  
／角山学区振興まつり実行委員会
- 満月BAR / 満月BAR

## ◎第6回おかやま協働のまちづくり賞

## ～投票で取組を応援しよう！～

おかやま協働のまちづくり賞では、インターネット投票を実施しています。ホームページから取組の詳細を見て、応援したい取組や内容に共感した取組などを選んでください。投票結果は、大賞や入賞を決める審査に反映されます。

◇テーマ：「ごみ」を減らし、「資源」で生かす  
ごみを資源と捉え、地域の循環を考えます。岡山に恵みを与える山・川・海を大切にする、持続可能なまちづくりに向けた「協働」の取組を募集しました。

### インターネット投票期間

令和3年8月20日(金)～9月30日(木)まで  
応募取組の内容を、右のコードのリンク先からご覧いただけます。



<http://www.okayama-tbox.jp/kyoudou/pages/10118>

# 市民活動支援金

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、地域で増加することが考えられる福祉・教育・子育てなどの地域課題に対して取り組み、困難を抱える市民を支援する活動に対して、支援金を交付します。

## 支援額

- 1団体あたり10万円（上限額）
- 支援対象経費（例）
  - ・報奨金・賃金
  - ・旅費
  - ・使用料・賃借料
  - ・保険料
  - ・消耗品費
  - ・委託費
  - ・印刷製本費
  - ・食糧費
  - ・通信運搬費
  - ・人件費

※備品購入費は対象経費となりません。

※希望する場合は、交付額の2分の1を活動開始前にお渡しすることも可能です。

## 対象となる団体

岡山市内を活動拠点とする非営利の市民活動団体で、令和3年4月1日時点で①または②を満たす団体

①「岡山ESDプロジェクト」参加団体、または「つながる協働ひろば・団体検索サイト」に登録している市民活動団体

② 1年以上継続して活動している市民活動団体

※民間企業、政治団体、宗教団体等は対象外。

## 対象となる活動

次の①～③をすべて満たす市民活動

- ①新型コロナウイルス感染症に関連する地域課題に取り組む活動
- ②感染症予防を徹底した上での活動
- ③令和3年4月1日から令和3年12月31日までの活動

## 申請書類はこちら

- ①補助金等交付申請書(様式1)
- ②活動計画書(様式9)
- ③事業活動収支予算書(様式10)
- ④団体概要書(様式11)
- ⑤振込先の通帳の写し
- ⑥債権者登録申請書
- ⑦その他必要と認めるもの



<http://www.okayama-tbox.jp/kyoudou/pages/24604>

**申請締切：令和3年12月28日(火)17時まで**  
**申請前に、下記窓口に必ずご相談ください。**

岡山市市民協働局市民協働部市民協働企画総務課  
 TEL：086-803-1061 FAX：086-803-1872  
 Email：kyoudou@city.okayama.lg.jp

## ◆市民活動支援金による活動事例（令和2年度実績）

事業名	申請者	概要
新型コロナ禍の中で弱者が生活意欲を喪失しない活動支援	津倉わいわいESD	地元食材を購入してボランティアがつくった弁当の配付、自粛生活中の過ごし方支援や感染予防グッズ配布、電話による個別相談、励ましができる体制づくりなど
エンジョイネットライフ竜之口	竜之口学区 電子町内会	Zoom学習会を開催、各避難所との連携訓練や遠方家族との交流、地域高齢者との交流
高校生のSOSに耳を傾けるカフェ	一般社団法人 ぐるーん	コロナにより心理的影響を受けている高校生が地域の相談員と出会う居場所(カフェ)を開催

コロナの影響で不安感や孤立感を抱える人が増えていますが、市民活動団体のこうした取組が、少しでも不安を解消したり、元気をもらったりすることにつながります。



# 岡山ESDプロジェクト2020-2030基本構想

岡山ESDプロジェクトは、岡山地域と地球の未来について共に学び、考え、行動する人が集う岡山地域の実現、環境・経済・社会の調和のとれた持続可能な社会の実現に貢献することを目指しています。

2005年に大学、教育機関、市民団体、企業、メディア、行政等により岡山ESD推進協議会が設立され、岡山ESDプロジェクトがスタートしました。地域全体で環境保全、多文化共生、まちづくり、伝統文化の継承などさまざまな取組が行われています。

この度の2030年を期限とする「岡山ESDプロジェクト2020-2030基本構想」は、2005年から始まった「岡山ESDプロジェクト基本構想」、その後の「岡山ESDプロジェクト2015-2019基本構想」を経て策定されました。

2030年のSDGs達成につながる持続可能な社会の実現に貢献するため、ESDの取組をより一層推進します。



## 8つの重点取組

### 持続可能な地域づくりの推進

- ・市民団体、行政、大学等と連携し課題解決などにつながる学びの機会を促進する
- ・市民参加型イベントの実施のほかESDプロジェクト参加団体同士の情報交換や交流の機会を提供する

### ユース・人材育成

- ・持続可能な社会づくりへの思いや知恵、技術継承、若者をはじめとした人材育成を図るため、ESDコーディネーターの育成や、大学生などの若い世代のESD実践者を増やす取組を進める

### 優良事例の顕彰

- ・ESD活動の顕彰のため「ESD岡山アワード」を実施する
- ・国内外の優良事例を共有し、活動のヒントを得るなど、活動の活性化と質の向上につなげる

### 企業・経済団体の取組促進

- ・企業や経済団体と連携し、企業向けSDGs研修の機会を提供する
- ・経済団体と連携し、ESDやSDGsに取り組む企業等の情報発信をすることで取組拡大を図る

### SDGs達成に向けた実践

- ・多様な関係者と連携して持続可能な社会づくりを学び、実践・行動につなげる機会を創出する普及啓発イベントを開催し、暮らしとSDGsの関わりについての気づきと行動変容につなげる

### 地域コミュニティ・公民館・学校でのESDの推進

- ・各所でのESD活動の推進と連携の促進を図る
- ・ユネスコスクールコンソーシアムのメンバー間連携や取組発表、国内外との交流等を支援する
- ・教員を対象にESD研修を実施する

### ESD活動の拡大

- ・岡山ESDプロジェクト参加団体の新たな取組や継続支援のため、助成制度を運用する
- ・HP等で発信により、活動の周知・普及を行う
- ・中間支援組織と連携し、活動拠点の拡大を図る

### 海外や国内との連携

- ・国内外の公民館やRCE地域などESD関連組織との連携・交流を進める
- ・世界のESD推進に貢献するため、海外組織と連携して岡山ESDプロジェクトの情報を発信する

ESD岡山アワードは、国内外のESD活動の中から優れた取組を表彰し、多くの人々に取組を知ってもらうことでESDを普及することを目的に、岡山市とESD岡山アワード運営委員会の共催で2015年度から実施しています。

岡山市は運営委員の国連大学やユネスコをはじめ、さまざまな国際ネットワークを通してESD岡山アワードの情報を発信し、毎年70件を超えるESDの取組が世界中から応募されます。



ESDフォーラム／ESD岡山アワードの様子

## ESDとSDGs

**ESD** 持続可能な開発のための教育（Education for Sustainable Development）

環境・経済・社会のバランスがとれた、子どもや孫の世代も安心して暮らせる未来を目指し、行動する人を育て、社会をつくるための学びあいのこと。

**SDGs** 持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）

2015年の国連サミットで採択された、2030年が期限の世界共通の17の目標。誰一人取り残さない社会の実現を目指し、広範な課題に総合的に取り組む。



未来わくわくSDGsフェスタの様子

ESDとSDGsは、左図のように関連し合うものです。

「目標4：質の高い教育をみんなに」の中で、「2030年までに持続可能な開発と持続可能なライフスタイル、人権、ジェンダー平等、平和と非暴力の文化、グローバル市民、および文化的多様性と文化が持続可能な開発にもたらす貢献の理解などの教育を通じて、すべての学習者が持続可能な開発を推進するための知識とスキルを獲得する」ことが書かれています。

つまり、ESDはSDGs達成に向けた手段の一つとして重視されています。SDGs達成には一人ひとりの価値観や考え方、行動の変革が必要で、そのために教育や学びが不可欠といえます。



## 岡山ESDプロジェクト参加団体募集（随時）

岡山ESDプロジェクトに賛同し、環境、国際理解、防災・減災、まちづくりなどの社会課題の解決を目的として、他の団体等と連携（連携予定を含む）し、持続可能な社会の構築に向けた担い手を育てる事業に取り組んでいる団体・組織等を募集しています。

### 対象となる団体

岡山ESDプロジェクトに賛同し、社会課題の解決を目的にさまざまな組織と連携して持続可能な社会づくりに取り組む団体。

但し、以下の団体は除外する。

- ・暴力団および暴力団に関係している
- ・特定の宗教団体への勧誘、信者になることを推奨する活動や特定の政治団体等の支持者の獲得を主たる目的としている
- ・公序良俗に反するおそれがあるとみとめられる行為をしている
- ・法令に違反する行為をしている

### 提出書類

- ・岡山ESDプロジェクト参加団体登録申請書（様式1号）
- ・団体等の組織および活動内容がわかるもの（団体規約や定款、役員名簿、チラシや実績報告書などの活動内容がわかる資料）

### 申請書類はこちら



参加を希望する団体・組織の方は上記書類を岡山ESD推進協議会事務局までご提出ください。  
<https://www.city.okayama.jp/kurashi/0000005555.html>

### 参加団体になると

- 助成金  
参加団体のうち非営利団体等を対象に、岡山地域におけるESD活動をより充実したものにするため、岡山ESDプロジェクト活動支援助成金を交付します。  
毎年度4月頃の募集を予定しています。
- ※企業や大学、国・地方公共団体やその外郭団体は対象外です。助成金額や補助率は過去の交付回数に応じて変動します。詳しくは募集開始後に募集要項をご覧ください。
- 参加  
岡山ESD推進協議会が実施する講座やフォーラム等をご案内します。  
また、SDGsやESDに関する理解を深めたり、活動のネットワーク拡大や情報発信を支援します。
- 例) ESDコーディネーター研修  
ESD岡山アワード/フォーラム  
おかやまSDGsアワード/フォーラム など

岡山ESD推進協議会事務局  
 (岡山市SDGs・ESD推進課内)  
 TEL：086-803-1351 FAX：086-803-1777  
 Email：esd@city.okayama.lg.jp

令和3年2月13日(土)に建部町文化センターにて『「郷土愛」による持続可能な地域づくり』を開催し、約60名の方に参加いただきました。郷土愛を生かした地域づくりについて学ぶとともに、地域への強い愛着と誇りを持ったリーダーから、地域に対する想いや活動で工夫していることなどをお話いただきました。

●基調講演 岩淵 泰さん（岡山大学准教授）

『地域のアイデンティティーまちづくりに活かすには？』

近年、個人と地域を結び付けるものが減ったことで住民同士の対話が減少し、地域に所属している感覚を持ちづらい状況が生まれている。住民それぞれが地域の宝物に気づくことがアイデンティティを育てる第一歩。宝物への愛着や誇りが「郷土愛」で、まちづくりに欠かせない要素であることなどを教わりました。



●事例紹介 前田 芳男さん（岡山大学教授）

『地域の学びを通してリーダーを育む』

地域への愛着は特別な経験ではなく幼いころからの何気ない日常から形成されるもので、それがゆくゆく地域活動への参加のきっかけになるそうです。また、進学や就職で故郷を離れることが一般的になっている現在、人生の転機で故郷へ帰るか否かが地域の持続可能性に影響するというお話がありました。



●パネルディスカッション

『「郷土愛」を持った人材の発掘と育成を考える』

自信をもって地域の魅力を発信していくことや、移住者に地域の良さを伝えていくこと、多くの方が内に秘めている郷土愛を引き出すこと、地域の事業者などと連携することの大切さなどが語られました。これらを受け、「地域のリーダーの役割は、郷土愛を育てることではなく、郷土愛を発揮できる機会を提供すること」とのまとめがなされました。

ーパネリストー

菊地友和さん（瀬戸内市移住推進員／瀬戸内市）

難波武志さん（大和をもっとよくしよう会 会長／吉備中央町）

定廣好和さん（造山古墳蘇生会 会長／岡山市）

平田慎一さん（たけべおこしプロジェクト 代表／岡山市）

★リニューアル！『おかやま地域づくり通信』

第2次岡山市協働推進計画の開始にあわせて『協働通信』を『おかやま地域づくり通信』にリニューアル！SDGsで示される誰もが暮らしやすい地域づくりに向けて、おかやまの協働やESDの取組を更にわかりやすくご紹介します^^

さまざまな取組から、誰一人取り残さない地域づくりと一緒に考えていきましょう。読者のみなさんの感想もぜひお寄せくださいね！（ESD・市民協働推進センター 編集担当：N）

◇Twitterはじめました！

@kyoudouhiroba フォローしてね(^^♪

令和3年度からつながる協働ひろばのTwitterを開始したよ！日々の取組やお知らせ等をつぶやくよ(^^)  
ぜひ、フォローしてね！！



最新情報は、「つながる協働ひろば」で検索！



発行：ESD・市民協働推進センター

ESD・市民協働推進センターは「協働を推進するためのコーディネート機関」です。人材育成、情報共有および交流機会の創出、社会課題解決のための取組の推進などを担います。

岡山市北区大供一丁目1番1号 岡山市役所2階 市民協働企画総務課内

TEL : 086-803-1062 / 070-5055-7589

E-mail : esd-smc@googlegroups.com

つながる協働ひろば



ホームページ



Facebook